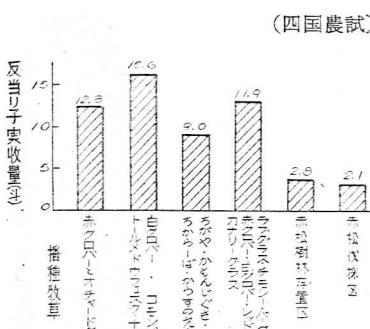


第1図 牧草跡地の収量の比較



(一) 地力の回復と、飼料生産に役立たせ
ましよう
（二） クロバーワンは勿論モジ、オーチ
ヤードゲラスも地力回復に役立ちます
飼料作物の栽培は単に飼料を生産するだ
けでなく地力を回復し、その跡地の生産が
増すことは常識となつておりますが、然し
これも栽培作物の種類によつて地力の回復
の度合いが異なるものです。四國農試でこ
の関係を調査した成績をみると次の図のよ

地ですから、優良草種の導入に當つては前
述の諸成績からみて永年性の赤クロバーワ
ン、アルサイククロバーワン、レッドトッ
プ、ケンタッキーフエスク、チモシー、オーチ
ヤードグラス、トールオーティグラス等の
中の数種を組合せ、更に初期期の
収量が多いベッチャ、十徳草、クリムソンク
ロバーワン、イタリアンライ等の一年性牧草を
加えれば立派な草地の造成ができると思ひ
ます。
なお赤クロバーワンには耐病弱性で温暖地に
適する品種「ケンランド」やアルサイククロ
バーワン、「四倍体種」等を用いると一層の
高生産を挙げることができます。

（二） 畜牧地の裏作にも飼料作物を入れ、
地力の回復と、飼料生産に役立たせ
ましよう
（三） クロバーワンは勿論モジ、オーチ
ヤードゲラスも地力回復に役立ちます
飼料作物の栽培は単に飼料を生産するだ
けでなく地力を回復し、その跡地の生産が
増すことは常識となつておりますが、然し
これも栽培作物の種類によつて地力の回復
の度合いが異なるものです。四國農試でこ
の関係を調査した成績をみると次の図のよ

うで、赤クロバーワン、ラデノクロバーワン、チモ

シー、オーチヤードグラス等は跡作の増収
に大きな効果があります。なお、これらの
牧草は多年性ですが、夏のひどい弱いの
で寿命が短くなるから秋播いで翌年よく繁
茂するのを利用する。（二年目はあまり茂
らないから、一年草のつもりで取扱う。）即
ち翌春二度刈りした後七月初めに鋤起工
して夏作物を作る方が畑作として利用する
場合は利用する。

（二） 冬期と早春に豊富な緑飼を得るため
にはベッチャ類、麦類、クリムソンクロ
バーワン、イタリアンライ、葉菜類、根菜
類を作付しましょう

早焼きの燕麦（オート）、ライ麦は年内に
一回刈り取りができる、これにベッチャ、豌豆
を混播すると収量も多く蛋白成分も高まり
理想的な緑飼を得られる。又クリムソンクロ
バーワン、ライグラスの单播又は混播は早春

に豊富な青刈が得られる。又クリムソンクロ
バーワン、ライグラスの单播又は混播は早春

りができる、これにカボ、ルタバガ等の根菜
類を巧みに組合せて栽培すれば冬季間にか
ら早春にかけての多汁飼料として多収が期
待できるので、一番問題の初冬から早春に
かけての飼料の確保は完璧である。

（三） 水田完全三毛作確立のために牧草
を積極的に水田輪作に入れましょう
表作水稻——裏作麦類、菜種又は綠作れ
んが長い間の我が国の水田の作付体系であ
つたが、最近水稻の育苗技術、品種改良、
薬剤の発達等により、水稻の早期栽培が
盛んとなつて米收の安定に寄与しているわ
けですが、この水稻の早晩期栽培に伴なつ
て、赤クロバーワン回刈区

紫雲英

生草収量
月日

一 度刈
九月六日
二 度刈
十一月三日
合 計
八月六日

收量割合
(%)

備 考

第四表 赤クロバーワンの水稲間作の試験成績
(反当り貫)

（一） 水田裏作のベッチャと紫雲英には必ず
オート(燕麦)を混播して、飼料生産
を有利にしましよう

（二） 水田裏作のベッチャと紫雲英には必ず
オート(燕麦)を混播して、飼料生産
を有利にしましよう

（三） 湿田の裏作にはクロバーワンが好適

（四） 湿田の裏作にはクロバーワンが好適

（五） 湿田の裏作にはクロバーワンが好適

区	分	中 播 区 (十月五日播)	半整地 (十一月四日四尺の高畦として二条播)
赤クロバーワン回刈区	一五五〇	二一五〇	二一七〇
紫雲英	一五七〇	二二〇	二三七〇
オート(燕麦)	一六〇〇	二三〇	二五〇〇
ヘヤリベッヂ	一七〇〇	二四〇	二五〇〇
モジ	一七五〇	二五〇	二七〇〇
モジモニベッヂ	一七七〇	二五〇	二九〇〇
ラーデノクロバーワン英	二七〇〇	三三〇	三七〇〇

区	分	中 播 区 (十月五日播)	半整地 (十一月四日四尺の高畦として二条播)
赤クロバーワン回刈区	一〇九〇〇	一六〇〇	一四〇〇
紫雲英	一九九六	三三〇	二五〇
オート(燕麦)	一九九六	二三〇	二三〇
モジ	一一四	一五七	一五七
モジモニベッヂ	一一四	一五七	一五七
ラーデノクロバーワン英	一七七〇	二三〇	一九〇

区	分	中 播 区 (十月五日播)	半整地 (十一月四日四尺の高畦として二条播)
赤クロバーワン回刈区	一〇九〇〇	一六〇〇	一四〇〇
紫雲英	一九九六	三三〇	二五〇
オート(燕麦)	一九九六	二三〇	二三〇
モジ	一一四	一五七	一五七
モジモニベッヂ	一一四	一五七	一五七
ラーデノクロバーワン英	一七七〇	二三〇	一九〇

（一） 赤クロバーワンを水田落水直後、稻の立毛中に播きとすると（紫雲英等と同様の方法で播種を行う）翌春五月上旬と六月中、下旬頃の二回に刈取りが可能で、紫雲英の六割以上の増収がで、然も紫雲英よりも湿田に強く、その豊富な根群は綠肥効果も大きくなり、水田裏作綠肥には是非とも赤クロバーワンの栽培を積極的に取上げることをお奨めしたい。

（二） 赤クロバーワンを水田落水直後、稻の立毛中に播きとすると（紫雲英等と同様の方法で播種を行う）翌春五月上旬と六月中、下旬頃の二回に刈取りが可能で、紫雲英の六割以上の増収がで、然も紫雲英よりも湿田に強く、その豊富な根群は綠肥効果も大きくなり、水田裏作綠肥には是非とも赤クロバーワンの栽培を積極的に取上げることをお奨めしたい。

（三） 湿田の裏作にはクロバーワンが好適

（四） 湿田の裏作にはクロバーワンが好適

（五） 湿田の裏作にはクロバーワンが好適

（一） 水田裏作のベッチャと紫雲英には必ず
オート(燕麦)を混播して、飼料生産
を有利にしましよう

（二） 水田裏作のベッチャと紫雲英には必ず
オート(燕麦)を混播して、飼料生産
を有利にしましよう

（三） 湿田の裏作にはクロバーワンが好適

（四） 湿田の裏作にはクロバーワンが好適

（五） 湿田の裏作にはクロバーワンが好適